

## あ と が き

新得町郷土研究会

会長 安倍 範 夫

新得町の歴史は百十余年を遡ります。未開の原生林野の開拓に身を投じた先人達の苦闘、やがて訪れる町の黎明、そして発展する未来に向かう逞しい開墾魂が本町の発展をもたらし、私達住民にいろいろな形で脈々と伝えられております。開拓に尽力なされた先人の足跡を私達はなんとしても後世に残したい。そんな熱い思いで野呂己之松氏らが中核となって組織づくりに動いたのは今から30年前であり、その願いが現在の「新得町郷土研究会」の発足でした。

活動としてこれまで先人の取り組んだ諸々を収集し、研究誌「郷土」、「開拓の足跡」等多くの集録を発刊しました。さらに、平成15年(2003)には広く町民の郷土に対する愛着を深める歴史資料として「ふるさとの伝承」を刊行しました。「ふるさとの伝承」は、特に児童、生徒の郷土学習の一環として活用されることも狙いとしました。時の流れは、私達の町的生活環境を変えていくものです。時の動きの中で起因する事象、そして史実の掘り起こしや探究によってこれまでにまとめた収録冊子にも修正、補足など加筆することの必要性も生じてきました。

平成23年(2011)は、新得町郷土研究会の発足30周年にあたり、これを契機として既刊「ふるさとの伝承」を見直し、改訂版を発刊することにいたしました。この「新版ふるさとの伝承」は、地域住民の方々が新得町を深く理解し、先人の足跡を知っていただき、本町を正しく理解されることを願いまとめた冊子でもあります。町民の皆さん、学習に取り組む児童、生徒が親しみやすく、しかも分かりやすい町の歴史的な事象を収録した冊子になるように務めました。新得町の郷土づくりに精魂かたむけた先人達の貴重な歩みをより広く知ることによって新得町が未来に向けて更なる発展が叶えられることでしょう。刻々と変貌する現在社会の中で、限られた諸々の制約から事実の誤認、取り上げた事象などでお気づきの点もございましょう。是非お聞かせください。

最後に、「新版ふるさとの伝承」の集録を刊行するにあたり新得町教育委員会のご理解と多大なるご支援をいただきましたことに深く感謝をいたし、「あとがき」といたします。

**編集委員**

委員長 奥山雅彦  
委員 秋山秀敏  
同 高橋昭吾  
同 大多優子  
同 菊地幸一  
同 児玉琢躬

**写真提供** (敬称略)

富田明美  
三塚幸男  
袴田幸男  
松尾為男

NPO 法人 旧狩勝線を楽しむ会

**表紙題字**

安倍範夫

**表紙写真**

菊地幸一

新得町郷土研究会30周年記念事業

「新版 ふるさとの伝承」

編集:「新版 ふるさとの伝承」編集委員会

発行:新得町郷土研究会

発行日:平成24年3月31日

印刷:(有)緑陽印刷